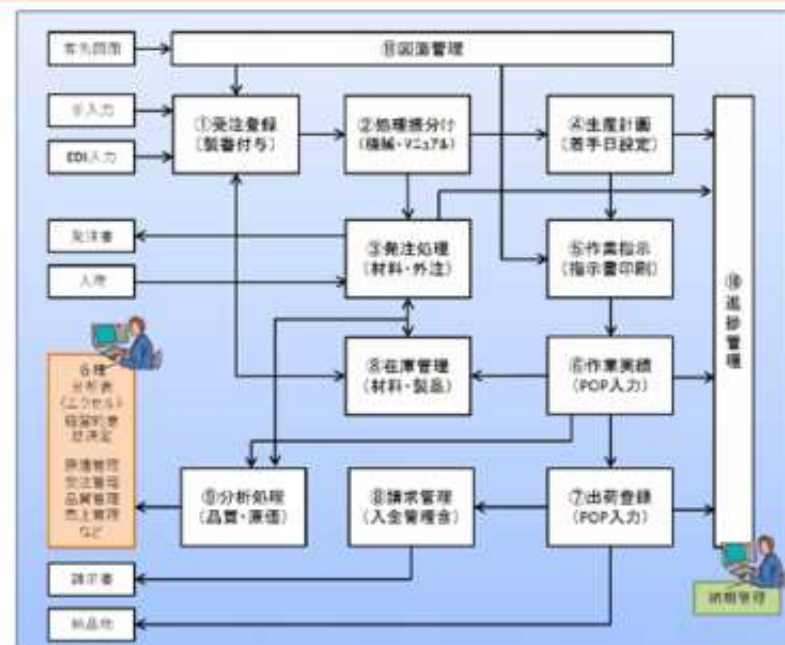


26 株式会社 長濱製作所 製造業/京都府

小ロット短納期品のみならず！IT活用による業務改革で量産品にも対応

事業概要とIT経営への取り組み

株式会社長濱製作所は、アルミや鉄などの精密金属加工を得意とする中小製造業です。これまでは主として大手メーカー等から図面をもらい、1～10個の程度の小ロットの試作品加工を行ない、QCD要求の中でも特に超短納期対応ができることを強みとしてきました。小ロット品の受注は依然好調ですが、新規注文の中には100個以上の量産品への要求も多くありました。今後、売上を維持向上させるためには、小ロット単品対応型の仕事の進め方のみならず、作業の連続性を前提としたプロセス型方式を確立し、全行程での業務生産性向上や管理水準の向上が必須となり、IT活用の見直しを含めた総合的な業務改革に取り組むことになりました。



攻めのIT活用（ITを活用した事業革新）の概要と成果

同社は、生産管理システムパッケージソフトを自社向けにカスタマイズして活用し、受注から出荷、請求までの一連プロセスのデータ化を行い、事務作業及びQCD管理の精度を大きく向上させました。生産ラインではCAD/CAMのアプリケーションソフトの導入により、製造工程の生産性を向上させ、現場のPOP端末からの作業実績や外部調達品の入荷登録により、全工程の進捗把握ができています。また、追加開発したEDI機能を活用して受注登録作業を50%以上効率化できました。加えて、蓄積されたデータベースを使い、情報分析ツールで、担当者別の作業予定表の作成、不良品件数・原因別集計、製品毎の原価、月毎の得意先別売上、受注残一覧などを行い、計画管理、QCD管理、営業支援などマネジメントや、経営の意思決定にも役立つ情報活用が可能になりました。

過去5年間の売上高の伸びは約1.3倍、経常利益の伸びは約2.3倍となり、量産品受注も約1割を超えて伸びてきています。